

# てっこうきでん

TEKKOKIDEN

(一社)石川県鉄工機電協会  
TEL (076) 268-0121  
URL <https://www.tekkokiden.jp>  
題字/会長 中村 健一

## 令和6年度業界振興懇談会 (第26回) 開催

9月3日(火) ホテル日航金沢において、馳知事、浅野副知事、県商工労働部幹部の方々をお招きし、中村会長はじめ協会の役員、並びに各地域・業種の代表者56名が一堂に会し、業界振興懇談会を開催しました。

中村会長、馳知事の挨拶の後、代表2名の方々より業界が直面する課題を知事に説明要望し、それぞれに見解をいただきました。

なお、懇談会に先立ち、野村證券(株)金沢支店長 小宮樹良氏、投資情報部長 林英憲氏を講師にお招きし、ご講演いただきました。



### (中村会長あいさつ要旨)

今年の夏は例年以上に異常な暑さが続いておりますが、皆さまお変わりなく、お過ごしのことと思います。

日本は地震列島と言われており、13年前には東日本大震災、それから5年後には熊本地震、そして今年には能登半島地震が発生しました。能登半島地震では、自衛隊の方々の活躍は大変目覚ましいものだと思います。

日本は地震が多発する国でありますので、地方自治体が事前に準備を行い、対応することには限度があると考えております。国が主導し、事前の準備を行い、発災後はすぐに国が自衛隊を被災地へ派遣するなどの対応をしていくと、早期の復旧・復興が望めるのではないのでしょうか。国が主導することで、大量に発生した災害瓦礫の処分についても、県を超えた広域処理も可能になると考えます。

私は常々、地震復興省のような組織をつくり、組織主導により、地震発生から復旧・復興まで活動できる自衛隊員の確保、移動設置型トイレや仮設風呂の事前の準備等ができればと考えており、国として対応いただけることを願っております。



### (馳知事あいさつ要旨)

日頃、本当にお世話になっております。鉄工機電協会は、石川県を代表する業界であります。

先般まで副知事を務めていた西垣淳子さんは、2年間の任務を終えられて、内閣府の防災担当の政策統括官と経済産業省の政策統括調整官という役割で、中央で頑張っておられますが、引き続き、被災地石川の支援に力を尽くしていただいております。後任に、経産省から浅野大介さんに副知事をお願いして頑張らせていただいております。

さて、今、会長の挨拶は、全てリスクマネジメントに繋がると思います。

地震というリスクマネジメント、また海外との取引もある鉄工機電協会からすれば為替というリスクマネジメント、長期的に見れば人材確保というリスクマネジメント、またデジタルやグリーンなどの新たな技術革新というリスクマネジメントの中で石川県をリードしてきていただいている業界であります。

当然、産業展示館の早期整備はしっかりやります。また、奨学金助成制度のこともしっかりとやりますが、それ以上に、伸びゆく皆さん方の業界が、さらに伸びることができるようなアシスト、サポートをするのが県の仕事であり、また、必要に応じて、国に対して、要望を直接届けて実現をさせていくのも私どもの役割だと、こういう認識でおりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



## 【CONTENTS】

### 令和6年度業界振興懇談会(第26回)開催

- 会長・知事あいさつ要旨 .....1
- 要望内容・講演要旨 ..... 2~3
- 協会トピックス
- 第1回デジタル化推進サポートスクール .....3
- 第1回正副会長・委員長会議の開催 .....4
- 中学生のモノづくり企業見学会 .....4
- 新分野・デジタル合同講演会 .....4

(別紙)延払による機械設備貸与制度のご案内

- 令和6年度第1回デザインセミナー .....5
- 新分野進出・環境委員会 合同視察会 .....5
- 経営技術指導委員会先進地視察 .....5
- DI調査結果(R6.7~9月期) .....6
- 令和6年度 研修スケジュール・協会スケジュール .....7
- 青年部会だより .....8
- 会員企業トピックス .....8
- 会員情報 .....8
- MEX金沢2025 キャッチコピー・ポスター .....8

回									
覧									

## 要望1. 企業立地補助金の改正等について

総務企画委員長 水越 裕治氏 (㈱アクトリー代表取締役会長)

昨年度、国の補正予算で創設された「賃上げに向けた大規模成長投資補助金」は、投資額10億円以上だが、賃上げ要件が厳しく使い勝手が悪い補助制度であります。

そこで、石川県企業立地促進補助金に関して、利用しやすい制度に改正するため、「投資額要件の引き下げ」「補助率の引き上げ」及び「補助対象事業の拡大」について要望いたします。



当協会の要望活動によって、人材確保が厳しい状況を踏まえ、雇用人数増加要件を撤廃していただいたところではあるが、増設における投資額要件が、金沢市以南（旧山中町、白山麓の旧5村を除く）では、20億円以上と設定され、中小企業が多い会員企業にとって、ハードルが高くなっています。

隣県では、富山県5億円以上、福井県10億円以上、岐阜県は10億円以上で中小企業は5億円以上と、石川県は2倍から4倍と高く設定されています。

また、増設事業の補助率については、石川県2.5%、富山県10%、福井県20%、岐阜県5%以内と、他県に比べて非常に低く設定されており、会員企業の9割が金沢市以南に集中していることから、投資額要件の引き下げと補助率の引上げをお願いしたい。

加えて、建替事業や国の補助金を利用したものは補助対象外となっており、特に工業団地内立地企業は移転による建替以外、選択肢はなく、生産能力拡大のため多額の投資を伴う事業であり、地域経済に果たす効果が大きく、新たに補助対象事業に追加をお願いしたい。

次に、暑さ対策補助金の創設です。地球温暖化により、真夏の30度を超える暑さは常態化してきており、作業環境の改善は人材確保を苦慮する中で重要な課題である。空調設備の導入や遮熱・断熱材の設置について、補助金創設をお願いしたい。

### <答弁要旨>

企業立地促進補助金については、昨年、皆さん方から要望をいただいて改善したところであり、その様子を見ながら、今日お示しの改善点については持ち帰って検討したい。

暑さ対策は、皆さん方の工場も本当に大変であり、今回、被災地も突貫工事で避難所などに空調を入れて、なんとか凌いだところである。そこで、現在、一定基準以上の省エネ効果がある空調設備の導入を支援する国の補助制度があり、まず、これを積極的にご活用いただきたい。なお、遮熱・断熱材の設置については、国の補助対象外となっているので、制度の拡充を国に強く要望してまいりたい。

おそらく来年はもっと暑く、労働環境は大変な状況であると思われ、国に対する強い要望として引き取りたい。

## 要望2. 人材の確保施策について

人材育成委員長 玉田 善明氏 (タマダ㈱代表取締役会長)

会員企業対象のDI調査において、「経営上の悩み」については、ここ3年近く「人材不足」がトップとなっており、4月の採用状況では2年連続で充足率が7割を切っている。

県では、理系人材の奨学金助成制度を創設し、昨年度は企業負担の導入により助成額を2倍とするなど充実しているが、市町にも独自の奨学金助成制度があり、県と市町の手続きの一本化・簡素化や、県と市町の合計額でのPRなど、インパクトのある制度とし、より一層、市町と連携した取り組みを進めていただきたい。



また、現在は理系のみ対象であるが、文系も含めることで、多様な人材の確保に繋がる制度とするとともに、新卒に限らず、UIターン人材確保策として、奨学金返済中の既卒者も助成対象に広げることも検討していただきたい。

県は、昨年度から県内大学生の県内定着率向上に向け、現在、5つの大学と協定を結ばれている。大学の更なる支援のため、県外出身者の学生が県内企業に就職した人数が3年平均の人数を超えた場合、1人あたり50万円を助成する新たな支援策を検討していただきたい。

また、県の就職フェアには会員企業も多数参加しているが、参加学生数が少ないとの意見があり、就活イベントの充実や業種別での開催も検討していただきたい。

最後に、今年1月に経団連が、「労使自治を軸とした労働法制に関する提言」を公表し、時代にあった見直しが必要との提言であり、人手不足が深刻な地域においては、時間外規制の緩和を県から国に対して要望していただきたい。

## <答弁要旨>

奨学金の返還助成制度の拡充については、協会からの要望を踏まえ、昨年度から対象者を大学院生から学部生に拡大し、対象企業も全業種に拡大したので、是非、ご活用いただきたい。

市町との連携は、県と市町の制度一覧をホームページで発信し、市町でも県の制度を紹介するほか、市町への申請書類の写しで県への申請を可能とする手続きの簡素化も図っている。市町は、それぞれの事情に応じた制度となっており、一本化は難しいが、より一層連携して周知に努めたい。

また、文系や既卒者を対象にとの提案は、今後の採用実態を見ながら検討したい。

昨年度から、大学と協定を締結して、企業と学生の交流会など、大学による取り組みを支援している。新たな提案については、こういった状況を見ながら県としても企業のインターンシップや交流を紹介することが必要で、その水先案内人としての県の役割は大きいと思い、県内大学にも改めてお願いしたい。

就活イベントの拡充については、オンラインの活用や県外の学生に対する交通費の助成など、学生が参加しやすい取り組みを進めており、今年度は80回程度の就職イベントを実施する。また、10月5日に私が北陸3県知事会で提案した、合同企業説明会を開催して、北陸に在学する学生の地元定着を図ることとしている。なお、業種別での開催については、参加学生のニーズを見極めながら検討したい。

最後に、時間外労働の上限規制の緩和については、厚労省が今年1月に研究会を設置し、経団連、連合の労使双方からヒアリングを行っている途中であり、研究会の議論を注目していきたい。

## 講演：「企業を取り巻く今後の経済環境について」

講師：野村證券株式会社 東 英憲氏（投資情報部長）、小宮 樹良氏（金沢支店長）

世界経済は、新興国（特にインド・アフリカ）の中間所得層増加により、今後も拡大が続く見込みです。ロシア・ウクライナ問題が解決しても、新興国との資源獲得競争により、原材料・エネルギー価格の上昇傾向は続く予想されます。この状況下で、インバウンドを含む世界経済拡大の恩恵を当地で享受する工夫が求められます。

国内では、インバウンド消費を契機に物価上昇が進み、外圧による賃金上昇も予想されます。企業は原材料費と人件費の上昇を見込み、自社の製品・サービスへの適切な価格転嫁が課題となります。

為替市場では、これまでの日米金利差との連動性が薄れ、新たな要因による変動が予想されます。日本の金融緩和による円の供給量増加で円の希少価値が低下している中、マネーサプライと為替の関係がより重要になってきます。

近頃、円相場は大きな変動を見せており、為替の急激な変動に直面した場合でも、自社が適切に対応できるよう、事前に柔軟な対応策を検討し、十分な準備を整えることが大切です。



小宮 樹良氏 東 英憲氏

## 協会トピックス

### 第1回デジタル化推進サポートスクール

開催日時：令和6年7月23日（火）

見学先：デジタル活用ものづくり支援センター

参加者：20名

今年度1回目となるデジタル化推進サポートスクールは、シミュレーションやロボットなどのデジタル活用ものづくりを実践できる人材の養成、企業へのデジタル技術の実装を支援し、DX推進を目指している、石川県工業試験場の「デジタル活用ものづくり支援センター」の見学会を実施しました。

センター内は、製品や技術の開発・研究するための最新のシミュレーション設備とともに、分析、加工設備なども充実していました。また、未経験者でも習得できるように基本操作の研修も用意されていました。





## 第1回正副会長・委員長会議の開催

開催日：令和6年8月2日（金）  
場 所：金沢東急ホテル  
参加者：16名

6月総会において定款の一部変更を可決承認、設置されました「正副会長・委員長会議」の第1回会議が、中村会長、副会長5名、委員長10名の参加のもと開催されました。

会長が座長となり、9月開催の業界振興懇談会における知事への要望内容について、参加者よりご意見を頂きました。

「厳しい人材確保の環境」、「残業規制への緩和」、「設備投資補助金における人件費等の使い勝手の課題」、「温暖化による暑さ対策への助成」等のご発言がありました。それらのご意見を踏まえ、「人材確保対策」、「企業立地補助金の改正」を要望することといたしました。



## 中学生のモノづくり企業見学会

開催日：令和6年8月7日（水）  
見学先：(株)アクトリー  
参加者：中学生29名、教員4名

中学生と教員を対象にモノづくり企業を理解してもらい工業系高校への進学を促すことを目的とした工場見学会を開催しました。

(株)アクトリーでは、環境に配慮した各種プラントの製作などを映像等で分かりやすくご説明いただき、実際の工場を見学しました。

参加した中学生からは「～100年後の地球も美しく～というキーワードが印象に残りました」「SDGsの意味と大切さ、日本の技術力の高さが分かりました」などの感想が寄せられました。



## 新分野・デジタル合同講演会

開催日時：令和6年8月27日（火）  
場 所：金沢東急ホテル  
参加者：30名  
テ ー マ：デジタル技術を活用した現場知識の共有・継承 ～デジタルナレッジツイン～  
講 師：北陸先端科学技術大学院大学 教授 内平 直志 氏

講演会では、デジタル技術を活用した「現場知識」の共有・継承に関して、事例を交えながらお話いただきました。

少子高齢化で若手が少ない中、ベテランが退職し、マニュアル化できない現場の暗黙的・潜在的・属人的な知識・ノウハウ（現場知識）をどのように組織で共有し継承していくかが大きな経営課題となっていきます。そのような中、デジタル技術を適切に活用していくことが重要とのことでした。



## 令和6年度第1回デザインセミナー

開催日：令和6年9月5日（木）

参加者：11名

テーマ：新製品開発におけるデザイン力の理解と、あらゆる現場で応用していくための製品開発事例

講師：玉井 美由紀氏

（株）FEEL GOOD CREATION代表取締役、武蔵野美術大学非常勤講師、グッドデザイン賞審査員、フェーズフリーアワード審査員、元本田技術研究所デザイナー

今回は、家庭用クリーナーを一つの題材として、現場におけるデザイン開発のプロセスや製品開発事例などについて、実際の製品やサンプル品をご用意いただき、お話いただきました。

参加者からは、「デザインの正解を導くためには“コンセプト”というぶれない指針が必要なことを学びました」「身近にある製品がたくさん工程を経て決められているのだと改めて実感した」との感想がありました。



## 新分野進出・環境委員会 合同視察会（岐阜県）

開催日：令和6年9月12日（木）～13日（金）

視察先：核融合科学研究所

ヤマザキマザック（株）

参加者：14名

核融合科学研究所では世界最大級の超電導プラズマ装置「大型ヘリカル装置」を見学しました。現在、2050年に向けて実験を行っているが、世界ではベンチャー企業が早期実現に向けて実験を行っているとの事でした。

ヤマザキマザック（株）では美濃加茂第一工場と第二工場を見学しました。第一工場は管理／組立部門、第二工場は機械加工部門と分けておりますが、デジタルで統合されており、生産の最適化で従来よりも生産性を1.5倍に向上させ、大規模スマートファクトリーを実現されておりました。



## 経営技術指導委員会先進地視察

開催日：令和6年9月18日（水）～19日（木）

視察先：平田機工（株）、（株）安川電機

参加者：14名

平田機工（株）は3つの部門（自動車・半導体・それ以外）を柱に事業を展開しています。

2018年の熊本地震で地元のために本社機能を東京から熊本へ移転するなど、様々な地域貢献も行っています。新型コロナウイルスを期に海外向けの製品はメタバースを用いオンラインで稼働確認後、納品するシステムを開発し、現在も活用しているとのことでした。

（株）安川電機は、「モーションコントロール（サーボモータ、インバータ）」「産業用ロボット」「システムエンジニアリング」などの事業を展開する市場ニーズの多様化や人材不足など客先のニーズに対応することを目的に新たなソリューションコンセプト「i3-Mechatronics（アイキューブメカトロニクス）」を提唱し、様々な分野へも事業展開を進めています。

また、「24年度サプライチェーン自動化推進活動」を掲げ、連携強化に向けて多様な分野への提案活動も行っているとのことでした。

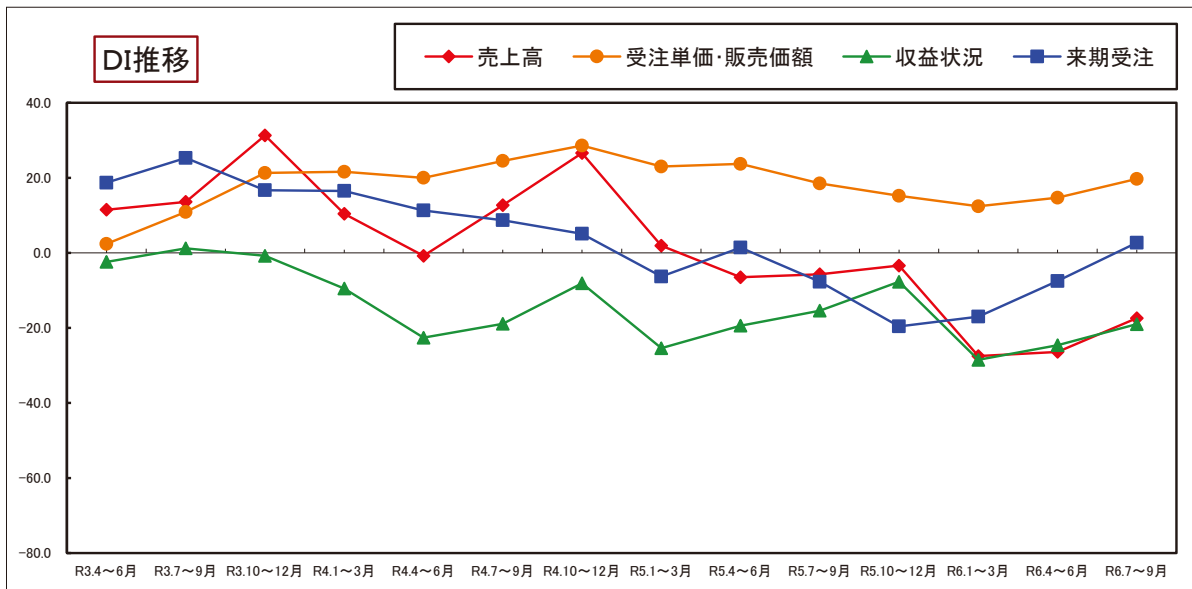


## DI調査結果 (令和6年7月-9月期)

概況総括：『景況感は改善しているものの依然としてマイナス圏であり停滞が続いている。  
来期についても改善が期待されるが懸念材料が多く不透明である』

### 【調査概要】

1. 今期 (令和6年7月-9月期) の業況調査DI12項目では、「受注単価販売価格」など4項目がプラス、「売上高」など8項目がマイナスとなり、10項目が改善している。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
  - (1) 景況感を端的に表す「売上高」は、▲17.4 (前回▲26.4) と少し改善した。また高騰が続いている「原材料価格」も▲47.8 (前回▲57.6) と改善し、「収益状況」も▲19.0 (前回▲24.6) と改善しているものの、依然としてマイナス圏にあり、停滞感が続き厳しい状況が窺える。
  - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲7.6 (前回▲9.0) と改善しているものの、引き続きマイナス圏にあり、下振れ傾向が続いている。「受注残」10.1 (前回8.4) と上昇したが、「生産設備」▲1.7 (前回0.0) と、令和3年1-3月期以来14期ぶりにマイナスへ転じた。
3. 来期については、「来期受注」2.7 (前回▲7.5) と5期ぶりにプラスに転じた。しかしながら「来期採算」▲4.3 (前回▲12.8)、「来期資金繰」▲3.9 (前回▲8.3) と、改善しているものの、依然としてマイナス圏での推移であり、先行きについては不安感がある。
4. 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」が31.5 (前回39.8) と引き続きトップとなった。「人材不足」が29.9 (前回26.5) と増加しており、自動化や省人化の取組みが急がれる。また、「採算」が10.2 (前回7.5) と令和2年10-12月期以来3番目となり、受注の獲得に加え価格転嫁等の取組が課題となっている。
5. 景況感は改善しているものの海外経済減速等の影響により停滞が続いている。また、依然として原材料、エネルギー関連価格の高騰が続いており、さらには人件費のコスト高など懸念材料が多い状態にある。来期については、改善が期待されるものの、長引くロシア・ウクライナ問題とともに、欧米や中国経済の動向が不透明なことから、不安感がある。





## 令和6年度 研修スケジュール

※ホームページからお申込みできます。 <https://www.tekkokiden.jp/events/school/>



### 【きでんスクール】

開催日 (予定)	テーマ	受講料	定員
10月10日(木)～11日(金)	新 ISO14001内部品質監査員養成講座	15,000	30
10月25日(金)	製造現場で進めるコスト改善	3,000	30
11月8日(金)	組織活性化のための「報・連・相」	3,000	30
11月22日(金)	新 コミュニケーションスキルUP講座	3,000	30
12月20日(金)	なぜなぜ分析で品質改善	3,000	30
1月17日(金)	効果的なOJTの進め方	3,000	30
1月24日(金)	分かりやすい原価管理の基礎	3,000	30
2月7日(金)	5Sで仕事のやり方を変えよう!	3,000	30
2月21日(金)	若手社員レベルUP教育	3,000	30
3月14日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

### 【技能継承スクール】

開催日 (予定)	テーマ	受講料	定員
10月2日(水)～4日(金)	新 PLC制御の回路技術	4,500	10
10月21日(月)～23日(水)	新 PLC制御の回路技術 (追加)	4,500	10
11月6日(水)～7日(木)	精密測定技術 (計測器管理技術編)	4,000	6
11月14日(木)～15日(金)	精密測定技術 (歯車・三針法などの特殊測定)	3,000	12
12月3日(火)～6日(金)	フライス盤加工技術	7,500	10

## 令和6年度 協会スケジュール

開催日 (予定)	内 容
<b>会 議</b>	
10月11日(金)	総務企画委員会
10月21日(月)	人材育成委員会
11月20日(水)	広報・情報委員会
12月4日(水)	第2回正副会長・委員長会議
1月23日(木)	令和6年度第2回理事会

<b>行 事</b>	
10月2日(水)～4日(金)	METALEX VIETNAM 2024 (ベトナム・ホーチミン)
10月15日(火)～16日(水)	デジタル化推進委員会視察 (静岡県、CEATEC2024)
10月16日(水)～18日(金)	環境・新分野進出委員会合同視察 (島根県)
10月29日(火)～30日(水)	広報・情報委員会視察 (山梨県)
11月11日(月)～13日(水)	SI基礎講座
11月15日(金)	第60回功労者・永年勤続者表彰式
11月19日(火)	タイ・AECビジネス促進部会
11月20日(水)～23日(土)	METALEX 2024 (タイ・バンコク)
11月26日(火)～27日(水)	産業用ロボットの教示等に係る特別安全教育
11月26日(火)	高校教員 (進路指導) 工場見学会 [能登地区]
11月27日(水)	高校教員 (進路指導) 工場見学会 [加賀地区]
11月28日(木)～29日(金)	MOT先進工場見学会 (長野県)
12月3日(火)	高校教員 (進路指導) 工場見学会 [金沢地区]
1月23日(木)	令和7年新年会員懇親会

## 青年部会だより

### 次世代経営者人材育成講座

開催日：令和6年7月9日（火）  
開催地：シーケー金属株式会社  
参加者：32名

テーマ：「経営の原理原則」と「働きがい」と「人材育成」のヒント  
講師：(株)CKサンエツ 代表取締役社長 釣谷 宏行 氏

東証プライム市場に上場し、伸銅・精密部品・配管・鍍金などの製造・販売を行う(株)CKサンエツの釣谷氏に人材育成や経営についての考え方等の内容についてご講演をいただきました。現状をしっかりと分析し、理想を掲げることで経営課題の解決が出来るとのことでした。



### 4府県合同研修会

開催日：令和6年9月20日（金）  
開催地：福井県  
参加者：74名（石川県19名）

武生特殊鋼材(株)、(株)シャルマン、福井経編興業(株)といった、福井県の優良企業3社に分かれて見学させていただき、各社の特徴の紹介や講演もいただくなど、大変勉強になる研修会となりました。その後、懇親会を開催し、県府の垣根を越えて有意義な情報交換を行い、4府県の連携を強めました。



## 会員企業トピックス

### ◆山浦理事が金沢市経済活動賞を受賞

「令和6年度金沢市経済活動賞」に当協会理事の山浦 伯之 氏（(株)石川コンピュータ・センター代表取締役社長）が受賞されました。

山浦氏は、クラウドサービスの提供など、幅広い事業を通じて社会のDX化に貢献されました。

**i 会員情報** 令和6年9月11日までにお寄せ頂いた内容を掲載しています。

### ◆代表者の変更

会社名	新代表者
(有)北鉄工所	北 大輝
小松シヤリング(株)	江口栄司
日砥(株)	水谷喜代子
(株)ピーエスシー	田中 斉

### ◆社名変更

新社名	旧社名
ホクショー辻茂(株)	ホクショー商事(株)

### MEX金沢2025（第61回機械工業見本市金沢）

会 期：令和7年5月15日（木）～17日（土）  
会 場：石川県産業展示館（1・3・4号館）

《キャッチコピー》

「技術が切り拓く、未来の鼓動」

作 者：齋藤 久美 氏（山形県在住）

応募総数 177 点から決定いたしました。

